



国際語科鶴見フィールドワーク（7月30日）国際語科有志生徒によるフィールドワークは、3年生4人、1年生7人の計11人で行われました。鶴見に在住する外国人の子どもたちを支援する団体であるABCJapanにご協力いただき、世界各国から来た日本語を勉強している外国籍の子どもたちとの交流を中心に、鶴見を巡って学習をしました。

フィールドワークの最後で訪れた東漸寺で関東大震災時に朝鮮人を救った「鶴見のシンドラ」と呼ばれる方のお話をうかがいました。



鶴見国際交流ラウンジで鶴見の国際化についてうかがいました。



外国籍の子どもたちを支援する団体を訪問。他己紹介で交流！



ブラジルの食品を扱うお店を見学しました。楽しい！おいしそう！



ブラジル料理店で料理を堪能しながら交流を深めました。

2学年夏期研修（7月31日）今年も2学年を対象にJICA横浜での研修が行われました。午前中は国際協力についてJICA横浜の方からの説明の後、移住資料館を見学し、午後は「高校生でもできる国際協力」というテーマで、8つもの国際協力NGOや国際交流団体にきていただき、ワークショップを行いました。



青年海外協力隊OGの方の、生徒へのインタビューも交えたお話。



海外移住資料館を見学しました。



ランチはJICA食堂でエスニックランチ。



横浜市国際交流協会は、国際機関主催のセミナーを紹介。



「ふれんどしっぷアジア」は、ロールプレイで活動を紹介。



「ハイチの会セスラ」はまずハイチを知って欲しいと熱弁。



「草の根援助運動」は途上国の子どもとの出会いを体験。



「地球市民ACTかながわ」は、高校生ができることを親切に紹介。



どのNGOのブースでも熱心に耳を傾ける生徒たち。



最後は、それぞれのブースで学んだことをお互いに紹介しました。



2日間、各国のダンスや模擬店で会場は大盛り上がり！

港南台国際協力まつり（8月3、4日）今年もあちこちの地域で夏祭りが行われましたが、国際語科の生徒は国際協力をテーマとした夏祭りにボランティアとして13名が参加しました。民族衣装を着て駅にチラシを配りに行ったり、お店で民族雑貨の販売を手伝ったりして、楽しく過ごしました。



OG（右から2番目）も参加してくれました。



松本先生も、OGとパチリ

生徒たちは各ブースの模擬店を手伝って大活躍！

瀬谷ボランティアバス（8月2～4日）瀬谷区が釜石の災害復興支援の一環として行っているボランティアバスに、18名もの隼人生が参加し、JR釜石駅近くの広場で開催されたお祭りのお手伝いをしてきました。お祭りには釜石商工高校の生徒も参加し、生徒同士の交流も行いました。また、2年経ってもいまだに災害の爪痕の残る被災地を視察し、復興の大変さを実感しました。



わたがしの他、ポップコーン、かき氷も！



釜石商工の男子生徒とハイチーズ！



お祭りと言えば、やっぱり盆踊り！



夕ご飯は復興屋台で。釜石ラーメンおいしい！



翌日は海水浴場の整備のボランティア。



国際語科では、文通を通じて釜石の方への心の支援をするプロジェクトを行っています（現在31名）が、現地を訪れたメンバーは、文通相手の方と会うことができました。横浜隼人高校国際語科は、今後も継続的な支援をしていきたいと思ひます。